

(株)アグリとくみつ、(農)大長野水稻生産組合(石川県白山市・能美市)

実証面積：92ha

実証課題名

データシェアリング等を活用した麦・大豆生産を支援する新たな農業支援サービスの実証

構 成 員

石川県農林総合研究センター農業試験場、(株)アグリとくみつ、(農)大長野水稻生産組合、JA松任 大麦・大豆協議会、JA能美 大麦・大豆スマート農業研究会、(株)オプティム、JA松任、JA能美、(公財)いしかわ農業総合支援機構、石川県(農林水産部生産流通課、石川農林総合事務所、南加賀農林総合事務所)



背景・課題

- 人口減少等の影響で米の需要が減少しており、水田農業では水稻から麦・大豆等への作物転換が課題。
- 麦や大豆は気象条件等の変化で収量や品質が大きく変動するため、データ駆動型農業を導入し、これらの変化に迅速に対応できる営農体系を確立する必要がある。
- また、これらの実現には農業者がデータ活用を簡便かつ安価に実施できる仕組みが求められている。



本実証プロジェクトにける想い

本実証では、大麦・大豆の収量向上に向けて、

- ・データ収集の外部委託やデータシェアリングを行う新サービス
- ・データに基づいた管理作業が通知される情報提供システム
- ・生育調査等のデータを活用する農業情報クラウドなどの見える化技術の実証を行います。

実証を通して、データ駆動型農業を実現する簡便かつ安価な仕組みを構築し、センシング技術をはじめとしたスマート農業技術の社会実装を推進します。

目 標

- 大麦・大豆の収量 10% 向上。
- 大麦・大豆の単収向上による収益性 5% 向上。

実証する技術体系の概要

要素技術

- ①センシング画像を広域収集する新サービス ②管理作業が通知やほ場情報の見える化を行う農作業・ほ場管理アプリ ③生育調査等のデータを活用する農業情報クラウド

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる」ポイント						①	②	③				

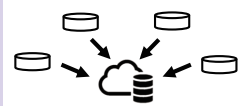
- ①センシング画像を広域収集する新サービス※(株)オプティム
※広域画像収集プラットフォーム



- ②データに基づいた管理作業の通知やほ場情報の見える化を行う農作業・ほ場管理アプリ (株)オプティム



- ③生育調査等のデータを活用する農業情報クラウド



地域版農業情報クラウド

問い合わせ先

▶実証代表

石川県農林総合研究センター農業試験場
e-mail: nk-kika@pref.ishikawa.lg.jp

▶視察等の受入について

(公財) いしかわ農業総合支援機構
e-mail: info@inz.or.jp